

平成30年度 沖縄海区漁業調整委員会開催状況

開催日時・場所	議 題	内 容
第 1 回	(議案1) 平成30年度浮魚礁承認予定数について	今年度の浮魚礁承認予定数は、前年度に各敷設団体から聞き取った上で事務局で案を作成し、年度当初の委員会において決定されている。事務局が要望聞き取りをおこなった結果、今年度の合計承認予定数は150基となり、委員会指示で定められた承認予定上限数200基を下回った。 委員からは異議なく、事務局案のとおり敷設承認予定数は150基とすることで議決された。
	(議案2) 平成30年度漁業権切替に係る漁場計画素案に対する答申について	県知事からの諮問に対する答申に係る意見聴取を行うため、公聴会を各地区で5回実施した。3地区で3者から計画案に対する意見が提出され、内容について事務局から説明を行った。 その結果、特定区画漁業権について、①宮古地区公聴会での要望は公益上、漁業調整上の問題が生じない範囲で漁場計画に反映させるべきである、②本島北部地区公聴会での要望は、漁協に対して未行使となっている範囲について漁具の撤去を適切に行うか又は行使の意思を示すよう県から漁協に対して指導を行うことを条件に案を計画に反映させるべきである、③本島中部地区での要望は、地元漁協等との調整が十分図られていない等、現状において当該要望は漁場計画に反映させるべきではなく、海区委員会からの意見はなしとする、との答申を行うことが議決された。 併せて、定置漁業権、途中免許での区画漁業権の漁場計画案については、特に意見がない旨、答申を行うことが議決された。
第 2 回	(議案1) 浮魚礁の敷設承認申請について	新規承認申請が12基(県、2漁協)、再承認申請が15基(2漁協、2市)あり。原案のとおり全て承認。
	(議案2) ウミガメの採捕承認申請について	石垣島ウミガメ研究会から試験研究目的で申請があり、原案のとおり承認。
	(報告事項1) 太平洋クロマグロの法令に基づく資源管理に関する報告	平成30年7月から始まるTAC法に基づくクロマグロの資源管理について、その概要と今後のスケジュールについて事務局から報告を行った。
第 3 回	(議案1) 浮魚礁の敷設承認申請について	浮魚礁の新規承認申請が3基(1漁協、1町)、事後承認申請が1基(漁協)、再承認申請が87基(県、10漁協、11市町村)あり。全て原案のとおり承認。
	(議案2) ウミガメの採捕承認申請について	東京海洋大学から試験研究目的で申請があり、原案のとおり承認。
	(議案3) 平成30年度漁業権免許に係る漁場計画の変更に関する県知事からの諮問及び公聴会の開催について	公示された漁場計画について、漁業の名称及び漁業の時期について変更する必要が生じ、県知事から諮問されたため、諮問を受けて実施する公聴会の日程及び開催に関する告示の案について事務局から説明し、原案のとおり承認された。
	(報告事項1) ソデイカの採捕に係る委員会指示の発動に向けたアンケート結果(第2回)について	昨年度実施したソデイカの採捕に係る委員会指示の発動に向けた2回目のアンケート結果について、事務局から報告を行った。
第 4 回	(議案1) 平成30年度漁業権免許に係る漁場計画の変更に対する答申について	漁場計画における漁業の名称等の変更にかかる県知事からの諮問を受けて実施した公聴会の結果について、事務局から説明を行い、答申の内容について審議を行った。 委員からは特に意見がなかったため、諮問に異議はない旨答申を行うことが議決された。
	(議案2) 沖縄県の海洋生物資源の保存及び管理に関する計画(案)に係る知事からの諮問について	国の基本計画に基づいた県の計画案が諮問され、内容について審議を行った。委員から特に意見がなかったため、諮問に異議がない旨答申を行うことが議決された。

第5回	平成30年7月13日 14時～14時50分 沖縄県庁6階 第2特別会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認申請について	浮魚礁の新規承認申請が4基(2漁協、2町村)、再承認申請が36基(県、3漁協、2町村)あり。修繕等を行わなければ再承認の要件を満たすことができない浮魚礁については、条件付き承認とし、事務局が修繕後の写真を審査し、改善が確認されたのちに承認証を交付することとなった。承認要件が整っている申請については、原案のとおり承認された。
		(議案2) ウミガメの採捕承認申請について	試験研究目的で北海道大学大学院及び小林氏から申請があり、原案のとおり承認。 漁業目的で18名の漁業者から申請があり、原案のとおり承認。
		(議案3) 平成30年度全国海区漁業調整委員会連合会九州ブロック会議の要望提案等について	平成31年度に全漁調連が行う中央省庁要望のうち、九州各海区からの要望は、今年10月に開催される九州ブロック会議で素案の審議を行うこととなっている。 沖縄海区からは、①日中漁業協定の見直しについて、②日台漁業協定の見直しについて、の2項目を一部文言を修正した上で継続してて要望することとし、③太平洋クロマグロ(大型魚)の適正な資源管理について、を新規で要望することを事務局から提案し、案のとおり要望することで承認された。
第6回	平成30年8月17日 14時～16時25分 沖縄県庁2階 労働委員会会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設に係る不適切な処理への対応について	委員会の承認を得ないまま敷設した事案について、関係者からの経緯及び改善策の説明を受け、委員会として対応を審議した。敷設済み分を含む今回の新規申請は認めるが、今後新規の敷設は認めないとし、警告文書を発し指導を行うこととなった。
		(議案2) 浮魚礁の敷設承認申請について	浮魚礁の新規承認申請が8基(4漁協)、再承認申請が16基(1漁協、県)あり。全て原案のとおり承認。
		(議案3) ウミガメの採捕承認申請について	試験研究目的で沖縄美ら島財団及び琉球大学ウミガメ研究会から申請があり、原案のとおり承認。 漁業目的で2名の漁業者から申請があり、原案のとおり承認。
		(議案4) 平成30年度漁業権免許申請に関する適格性等の審査及び免許の可否について	平成30年度漁業権免許について、公示された漁場計画に対する379件の申請に関して沖縄県知事職務代理人から諮問があり、内容について事務局から説明を行った。審議した結果、申請があった全ての者について適格性を有しており異議はないとし、優先順位についても複数の申請がないため異議はないとする案のとおり答申を行うことが議決された。 また、今回免許申請がなかった2件については、県としては再度漁場計画の変更に関して委員会に諮問し、申請期間をあらためて設定して免許申請を受ける手続きが予定される、と事務局から説明があった。
		(議案5) 南北大東島の沿岸海域における漁業に関する委員会指示について	当該委員会指示は平成30年8月31日で有効期間が満了するため、更新について事務局から内容の説明を行った。両村及び両漁業団体から指示の更新についての要望書が提出されており、これまでの委員会指示による漁場秩序維持の効果がみられるため、指示の更新の必要性が認められるとし、また指示内容については、自主規制の改正に随時対応できるようにするため、指示の一部を改正する案を事務局から提案し、異議なく原案のとおり承認された。
		(議案6) 多良間村に住所を有する漁民の漁業権漁場の利用に関する委員会指示について	当該委員会指示は平成30年8月31日で有効期間が満了するため、更新について事務局から内容の説明を行った。多良間村から指示の更新についての要望書が提出されており、これまでの委員会指示による漁場秩序維持の効果がみられるため、指示の更新の必要性が認められるとし、指示内容については基本的に変更はなく、期間延長を主な改正とした案を事務局から提案し、異議なく原案のとおり承認された。
		(議案7) 平成30年度全漁業調連九州ブロック会議に係る要望議題等の回答について	当該会議に係る九州各県(長崎県以外)からの要望について、沖縄海区漁業調整委員会からの意見のとりまとめを行った。審議の結果、新規6件の要望を含め、全14件の要望について、趣旨に賛同する旨の回答をすることが承認された。
(協議事項1) ソデイカの採捕に係る委員会指示の発動について	当該指示は平成30年9月30日で有効期間が満了するため、新たな指示発動に向けて、水産海洋技術センターからの情報提供と漁協等へ行ったアンケートの結果について事務局から説明を行った。今回の協議を踏まえ、基本的に現行の指示内容をもとにして、次回の委員会で審議することになった。		

第7回	平成30年9月14日 13時～15時15分 沖縄県庁6階 第2特別会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認申請について	浮魚礁の新規承認申請が2基(2漁協)、事後承認申請が1基(1漁協)、再承認申請が5基(1漁協)あり。全て原案のとおり承認。
		(議案2) ウミガメの採捕承認申請について	試験研究目的で日本ウミガメ協議会付属黒島研究所から申請があり、原案のとおり承認。
		(議案3) ソデイカの採捕に係る委員会指示の発動について	当該委員会指示は平成30年9月30日で有効期間が満了するため、事務局から説明を行った。今回は内容変更をせず、指示更新に伴う日付や文書法規上の文言を修正した変更案が事務局から提示され、審議を行った。委員からは異議なく案のとおり承認された。
		(議案4) 沖縄県の海洋生物資源の保存及び管理に関する計画の変更に係る知事からの諮問について	国の基本計画が一部改正されたことに伴い、海洋生物資源の保存及び管理に関する法律第4条に基づいて、県計画の変更について沖縄県知事職務代理者から本委員会へ諮問され、審議を行った。県計画の変更に関する事務局からの答申案について、委員からは異議なく案のとおり承認された。
		(議案5) 平成30年度全漁調連九州ブロック会議に係る要望議題等の回答について(追加分)	長崎県と大分県からの追加の要望について、沖縄海区漁業調整委員会からの意見のとりまとめを行った。審議の結果、新規1件の要望を含む4件の要望について、趣旨に賛同する旨の回答することが承認されたが、新規1件については、国の改革承認を前提とした意見の場合は賛同できないとして回答することとなった。
第8回	平成30年10月12日 14時～14時30分 沖縄県庁6階 第2特別会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認申請について	浮魚礁の再承認申請が5基(県)あり。全て原案のとおり承認。
		(議案2) ソデイカはえ縄漁業の承認申請について	糸満漁協所属の漁業者からソデイカはえ縄漁業の申請があり、原案のとおり承認。
		(議案3) イセエビ(セミアヒ類)の採捕承認申請について	試験研究目的で(株)パスコ沖縄支店から申請があり、原案のとおり承認。
第9回	平成30年11月16日 13時～14時50分 ホテルサンパレス 球陽館2階会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設に係る不適切な処理への対応について	委員会の承認を得ないまま浮魚礁を敷設した事案について、関係者からの経緯及び改善策の説明を受け、委員会として対応を審議した。委員会からの警告文書を発した上で、今後一年間は、流失に伴う再敷設を含む新たな浮魚礁の敷設は認めないということとなった。
		(議案2) 浮魚礁の敷設承認申請について	浮魚礁の新規承認申請が15基(3漁協、県)あり。名護と羽地の両漁協からの協議書取得が不可能となっている現状への対応について、沖縄県漁港漁場課担当から説明があり、対応を審議した。両漁協の現状を考慮し、提出済みの事前同意文書をもって協議書に代わるとし承認することとなった。その他の申請についても全て原案のとおり承認。
		(議案3) ウミガメの採捕承認申請について	漁業目的で1名の漁業者から申請があり、原案のとおり承認。
		(報告事項) 要望項目に関するアンケートについて	全国海区漁業調整委員会連合会事務局において要望項目数の削減の検討についてのアンケートが実施され、事務局で作成した案の報告を行った。
第10回	平成30年12月14日 14時～14時25分 沖縄県庁2階 労働委員会会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認申請について	浮魚礁の新規承認申請が2基(2漁協)、再承認申請が23基(2漁協、県)あり。修繕等を行わなければ再承認の要件を満たすことができない浮魚礁については、条件付き承認とし、事務局が修繕後の写真を審査し、改善が確認されたのちに承認証を交付することとなった。承認要件が整っている申請については、原案のとおり承認された。 再承認申請手続きが完了していない漁協には、委員会から警告文書を発して、今後改善をもとめていくこととなった。
		(議案2) ウミガメの採捕承認内容変更申請について	漁業者から、今年度承認を受けた採捕頭数を採捕したため、アオウミガメ及びタイマイを各2頭追加したいとの申請があり、原案のとおり承認された。

第11回	平成31年1月18日 16時～16時50分 ホテルサンパレス 球陽館2階会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認申請について	浮魚礁の新規承認申請が2基(1漁協)、再承認申請が3基(1漁協、県)あり。全て原案のとおり承認。
		(議案2) 浮魚礁の敷設承認枠の追加要望について	伊良部漁協から提出された敷設承認枠の追加要望について審議を行い、要望のとおり敷設承認枠1基の追加が承認された。
		(報告事項1) イセエビ・セミエビ委員会指示の中間報告について	当該指示は平成31年3月31日で有効期間が満了するため、新たな指示発動に向けて、水産海洋技術センターから中間評価の報告を行った。また、委員会指示発動までのスケジュールとして、今後、現行指示に関するアンケートを全漁協等へ実施し、それらの結果を踏まえ3月中の指示案の策定及び承認をすすめていくことが事務局から説明された。
		(報告事項2) スジアラ・シロクラベラ対象海域の拡大について	当該指示における対象海域の拡大(指示の変更)に向けた状況及び今後のスケジュールについて事務局から説明があった。対象海域の拡大については今年度中に指示をの変更、遊漁者を対象にすることについては、今後パブリックコメントを実施し意見を聴いた上で指示の内容について検討していくことが事務局から説明された。
第12回	平成31年2月15日 14時～15時15分 沖縄県庁2階 労働委員会会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認申請について	浮魚礁の新規承認申請が1基(1漁協)、事後承認申請が3基(2漁協)あり。全て原案のとおり承認。
		(議案2) 沖縄県の海洋生物資源の保存及び管理に関する計画の変更に係る知事からの諮問について	国の基本計画が一部改正されたことに伴い、海洋生物資源の保存及び管理に関する法律第4条に基づいて、県計画の変更について沖縄県知事から本委員会へ諮問され、審議を行った。県計画の変更に関する事項について事務局からの答申案について、委員からは異議なく案のとおり承認された。
		(議案3) 個人情報の収集に関する例外事項に係る沖縄県個人情報保護審査会への諮問について	個人情報の保護に関する法律が一部改正されたことにより、要配慮個人情報の収集には沖縄県個人情報保護審査会へ意見を聴く必要があることから、要配慮個人情報を例外的に収集することができる事項について事務局から諮問案が提示され、委員からは異議なく案のとおり承認された。
		(報告事項) イセエビ類及びセミエビ類の資源管理に関するアンケート結果報告について	当該指示は平成31年3月31日に有効期間が満了するため、新たな指示の発動に向けて、漁協及び潜水器漁業者等へ行ったアンケートの結果について事務局から説明を行った。
第13回	平成31年3月15日 14時～14時40分 沖縄県庁6階 第2特別会議室	(議案1) ウミガメの採捕承認申請について	試験研究目的で琉球大学ウミガメ研究会から申請があり、原案のとおり承認。
		(議案2) 浮魚礁に係る委員会指示の発動について	当該委員会指示は、平成31年3月31日に有効期間が満了するため、新たな委員会指示を発動する必要があることから、その発動と内容について審議を行った。運用については現行指示と変更点はないが、法規的な表現について担当課の助言により修正した改正案を事務局から提示し、異議無く原案のとおり承認された。
		(議案3) イセエビ類及びセミエビ類の採捕制限に係る委員会指示の発動について	当該委員会指示は、平成31年3月31日に有効期間が満了するため、新たな委員会指示を発動する必要があることから、その発動と内容について審議を行った。運用については現行指示と変更点はないが、法規的な表現及び条項の並びについて担当課の助言により修正した改正案を事務局から提示し、異議無く原案のとおり承認された。 また、引き続き指示の周知を進めていく中で、違法物の所持販売の禁止の条項追加等についても今後検討していくことが事務局から説明された。
		(議案4) スジアラ及びシロクラベラ資源の保護培養に係る委員会指示の発動について	対象海域を拡大したことにより委員会指示を一部改正する必要があることから、その内容について審議を行った。対象海域を拡大した内容に加え、現行指示では緯度経度で表していた対象海域を共同漁業権単位で表すこととした改正案を提示し、異議なく原案のとおり承認された。